

長野県革新懇ニュース

2023年10月号
発行 10月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 00510-3-15971



発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 伊藤利博さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」関秀雄さん
- 3面 大北森林組合事件住民訴訟最高裁決定に対する原告弁護団声明
読者の声、漢字パズル
- 4面 雨よ降れ 暴力と言論 窪島誠一郎さん
戦争を語り継ぐ 北原高子さん
映画評論『ハマのドン』 内山到さん

長野県革新懇

検索



1940年駒ヶ根市赤穂出身。木曾西高校、中京大学体育学部卒業。長野県内で体育教師として43年間務める。その間長野陸上競技協会の審判員、役員として務める。現在は、長野陸上競技協会名誉副会長、NPO法人信州駅伝サポート会理事長。

長野県の「駅伝文化」をさらに培い、育てたい

伊藤 利博 さん

(特定NPO法人信州駅伝サポート会理事長)

全国屈指の成績を誇る「駅伝王国」

Q 駅伝競技における長野県勢の活躍をご紹介します。

昨年12月に行われた女子の第34回全国高校駅伝大会において、長野東高校が見事に初優勝を果たし、続く男子の第73回大会では佐久長聖高校が準優勝という素晴らしい成績を収めました。さらに今年1月京都の第41回都道府県対抗女子駅伝大会では、高校生を中心にしたメンバーで臨み、今後の飛躍につながる11位になりました。さらに広島で行われた男子第28回大会では、過去最高の9回目の優勝、そして2連覇というような輝かしい成績を残してくれました。男子都道府県対抗では2番目の兵庫県が6回の優勝ですから、9回というのは驚異的と言っても過言ではないと

歴史の中で培われた数々の活躍の要因

Q 県勢の目覚ましい活躍の理由をお聞かせください。

第1として、長野県にはオリンピック選手を含めて、大勢の長距離選手を輩出してきた土壌があったことだと思います。特に最初にその土壌を作ってくれた方は田中秀雄さんです。田中さんは阿智村出身で、下伊那農業から中央大学へ進み、1936年の第11回ベルリンオリンピックの3千障害競走に日本代表として出場した経歴を持っています。田中さんは郷里に戻ったのち、信毎の運動部に入社し、そこで1952年に長野県縦断駅伝競走大会を立ち上げた。さらに1958年には信毎マラソン(今日の長野マラソン)の立ち上げに尽力されました。この影響が非常に大きかったと思っています。

思います。こうした成績を見ると、長野県が「駅伝王国」と言えるわけであり、本当に嬉しく思っています。まさに我々の先人が色々と積み重ねてきてくれたおかげであり、また、過去に多くの長距離選手を輩出していることも大きな誇りです。

は高校で優秀な指導者が出ました。長野東高校では玉城良二先生、佐久長聖高校では両角速先生がその筆頭と言えます。自らも選手としてさまざまな大会に出場し、玉城先生は準優勝2回、両角先生は13回出場して12回入賞、1回優勝、準優勝2回という素晴らしい成績を収めています。残念ながら、玉城先生は日本体育大学、両角先生は東海大学に行かれたわけですが、後任に長野東では横打史雄先生、佐久長聖では卒業生の高見澤勝先生がうまく引き継いでくれて、これもまた素晴らしい成績を収め、今日にきています。

4番目としては、企業の後押しです。駅伝やマラソンなどの長距離競技は他の競技に比べると注目度が高いと言えます。ですから企業にとっても、所属する選手が良い成績を収めるとPRにつながるわけです。もちろん競技に対する企業の理解があることが大前提ですが、さまざまな形で長距離選手の育成に力を入れ、後押ししてくれてきました。

5番目には、長距離選手の育成のためにボランティアの皆さんの支援があったことです。腰越ランニングクラブや川中島ランニングクラブ、あるいは駒ヶ根市にある中沢ランニングクラブなど、その指導者は自ら長距離を走っており、あるいは都道府県のコーチを務めたりし、そういった方々がボランティアの世界で子どもたちを育成してくれました。そういう力が非常に大きかったと思っています。特に川中島ランニングクラブは、長野東高校や佐久長聖高校に進学して活躍する選手を育てています。

今日の地歩を築いた多くの長距離競技者

Q 長野県出身で活躍された方を紹介ください。

先ほど紹介した田中秀雄さんは先駆けですが、1950年には佐久から石井賢治さんが出ました。この方は、白田高校出身で後に慶応大学へ進みましたが、インターハイの第3回、4回大会で5千円は優勝し、1500円でも2位になりました。長野県からこういう長距離選手が出てくることよって、若い選手たちも石井さんに続けという気持ちになったわけで、石井さんの活躍は大きな第一歩になったと思っています。